

令和7年度東金市子ども・子育て会議（第2回）次第

令和7年11月17日（月）午前10時～
東金市役所 第1委員会室

1. 開 会
あいさつ

2. 委員紹介

3. 役員選定について

4. 議 題

（1）こども誰でも通園制度 乳児等通園支援事業者の認可について

報 告

（1）大和幼稚園の今後のあり方について

5. そ の 他

6. 閉 会

こども誰でも通園制度 乳児等通園支援事業者の認可について

こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）は、令和 8 年 4 月より「乳児等のための支援給付」として、全ての市町村で実施することとされています。それに基づき、子ども・子育て支援法第 72 条の規定に基づき、東金市子ども・子育て会議の意見を聴くのが、今回の会議の目的です。

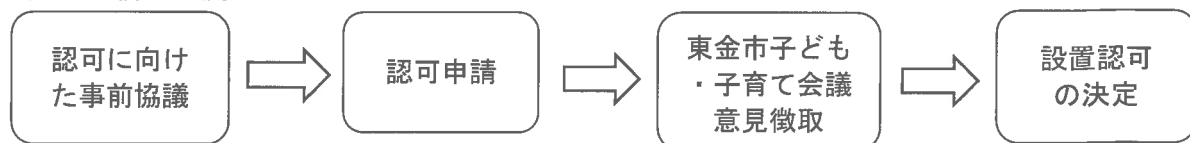
【事業内容】

0 歳 6 か月以上満 3 歳未満で、保育所等に通っていない乳幼児が、月に一定時間までの利用可能枠の中で、保護者の就労等の要件を問わず、保育所等に通園できる事業です。

【事業者の認可】

本市では、令和 8 年 4 月からの実施を予定し、乳児等通園支援事業者としての認可及び給付を行います。

◎認可手続きの流れ



【乳児等通園支援事業者】

認可に向けた事前協議を行い、認可申請の準備を整えていただいている事業者は、次のとおりです。（市内私立）

実施園名	住所	事業形態	事業種別
わくわく保育園東金園	東金市田間 3 丁目 14 番地 6	認可保育所	一般型 （専用室独立実施型）
ユニヴァーサル雙葉学園	東金市幸田 680 番地 1	認定こども園	一般型 （専用室独立実施型）
東金国際こども園	東金市堀上 71 番地 1	認定こども園	一般型 （専用室独立実施型）
小規模保育まりんキッズ	東金市東岩崎 25 番地 4 大野ビル 1F	小規模保育	余裕活用型
東金第 2 さくら保育園	東金市堀上 816 番地 1	小規模保育	余裕活用型

※一般型（専用室独立実施型）＝保育所等の定員とは別の定員を設け、在園児とは別の専用スペースで実施する方法

余裕活用型＝保育所等の空き定員の枠を活用し、在園児と合同で実施する方法

◎各事業者は、国の定めた「乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準」を満たしています。

大和幼稚園の今後のあり方について

市では、『東金市就学前児童施設の今後のあり方について』に基づき、幼保再編を進めているところです。

そのなかで、『大和幼稚園』については、急激な充足率の低下などがあった場合、休・廃園を再検討するとしておりますが、令和8年度の入園児募集の結果、入園希望が無かったことから、大和幼稚園の今後のあり方について検討を開始いたします。

【1】大和地区の就学前児童の状況

① 大和地区の就学前児童数（R7.5 時点 単位：人）

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
12	7	14	15	16	16	80

② 大和地区の就学前児童の施設利用状況（R7.5 時点 単位：人）

施設名等	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
大和幼稚園				6	3	3	12
市立保育所			2			1	3
私立保育所	2	3			1	3	9
市立認定こども園		1			1	1	3
私立認定こども園	3	1	5	9	10	4	32
小規模保育事業			1				1
管外			3			1	4
合 計	5	5	11	15	15	13	64

③ 大和幼稚園の利用者数の推移（各年 5/1 時点）※充足率は、定員 100 人に対するもの。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8 見込
園児数（人）	41	32	25	23	25	18	14	10
充足率（%）	41.0	32.0	25.0	23.0	25.0	18.0	14.0	10.0

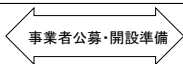
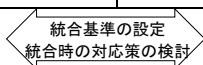
④ 令和8年度大和幼稚園の利用者数見込（R7.11 時点 単位：人）

3歳児	4歳児	5歳児	合計
0	6	4	10

【2】スケジュール

令和7年 11月 子ども・子育て会議／教育委員会で説明
12月 文教協議会で説明
令和8年 1月 保護者アンケート実施

認定こども園化(幼保再編)の進め方について(「東金市就学前児童施設の今後のあり方について」より)

					第1段階		第2段階		第3段階		H40年度以降又は状況変化（少子化の急激な進行など）があった場合の方針
					H30 ～ H31		H32 ～ H35		H36 ～ H39		
			施設の課題		対応方針						
					・民間保育所を開設することで、待機児童を解消する。		・正気、豊成、福岡地区間で多数の児童が行き来している状況を、各地区の施設を認定こども園へ転換することで、解消する。 ・正気幼稚園の認定こども園転換は、源幼稚園の統合とあわせて行う。		・第1保育所、東金幼稚園、嶺南幼稚園を民間認定こども園へ移行することで、施設の老朽化に対応する。 ・大和幼稚園、丘山幼稚園の認定こども園転換は、民間認定こども園への移行とあわせて行う。		
鶴嶺	公立	第1保育所	・施設の老朽化	・市の中心部であり、今後も保育・幼稚園ニーズは高いと推計している。 ・市の財政的に施設の建て替え等ではなく、民間認定こども園への移行を進めていく。その際、嶺南幼稚園も立地的に統合の対象とする。				統合して民間認定こども園へ移行 ※民間事業者の応募がないなど、民間認定こども園への移行が見込めない場合 ⇒第1保育所を民間保育所へ移行し、東金・嶺南幼稚園の統合を検討する。		完	
		東金幼稚園	・施設の老朽化 ・充足率の低下								
		嶺南幼稚園	・充足率の低下								
	民間	ときがね幼稚園				現状のまま運営				OK	
		小規模保育（6ヶ所）	・連携施設（3歳児の受け入れ先）の確保	・民間保育所の新設、公立幼稚園の預かり保育の拡大、認定こども園化。							
日吉台	民間	八坂台保育園（新設）		・市の中心部の保育ニーズの受け皿として、市として開設を支援する。		開設準備	保育所として運営			完	
城西	公立	城西幼稚園		・城西地区の幼稚園ニーズの受け皿として機能しているため、現状のまま運営する。		現状のまま運営		認定こども園へ転換 （3歳以上対象）		・急激な充足率の低下などがあった場合、休・廃園を検討する。	
		大和幼稚園	・充足率の低下	・大和地区の保育ニーズの受け皿となれるように、認定こども園へ転換する。							
東	公立	第2保育所		・保育・幼稚園ニーズが最も高い田間地区があることから、その受け皿として現状のまま運営し、両施設の連携を深めていく。 ・0～2歳児の保育ニーズも高まると推計されるため、民間の小規模保育事業者を公募し開設する。		現状のまま運営		現状のまま運営		OK	
		公平幼稚園	・施設の老朽化								現状のまま運営
	民間	小規模保育（新設）						小規模保育として運営		完	
丘山	公立	丘山幼稚園	・充足率の低下	・丘山地区の保育ニーズの受け皿となれるように、認定こども園へ転換する。		認定こども園へ転換 （3歳以上対象）		認定こども園へ転換 （3歳以上対象）		・急激な充足率の低下などがあった場合、休・廃園を検討する。	
正気	公立	正気幼稚園	・充足率の低下	・正気地区の保育ニーズの受け皿となれるように、認定こども園へ転換する。							
	民間	ユニヴァーサル雙葉学園				現状のまま運営		現状のまま運営		OK	
		小規模保育（1ヶ所）	・連携施設（3歳児の受け入れ先）の確保	・民間保育所の新設、公立幼稚園の預かり保育の拡大、認定こども園化。							
豊成	公立	第3保育所		・市中心部の保育ニーズの受け皿として、現状のまま運営する。		現状のまま運営		認定こども園へ転換 （0歳以上対象）		OK	
		第4保育所		・豊成地区の幼稚園ニーズの受け皿となれるように、認定こども園へ転換する。							
福岡	公立	第5保育所		・福岡地区の幼稚園ニーズの受け皿となれるように、認定こども園へ転換する。			認定こども園へ転換 （0歳以上対象）			完	
源	公立	源幼稚園	・充足率の著しい低下	・統合基準を設定した上で、近隣施設と統合する。				通園バス等の対応をした上で近隣施設と統合		完	

※想定外の少子化の急激な進行や民間事業者の動向などがあった場合は、随時、進め方を見直していくものとする。